令和7年2月21日

令和6年度 東北地域みどりの食料システム戦略推進WEBセミナー

令和6年度

JA夢みなみ
みえるらべる取得と今後の取組について

夢みなみ農業協同組合
営農部 園芸課 しらかわ園芸　課 長　仁平 行洋

JA夢みなみ公式キャラクター
「ゆめみちゃん」

目次

01 » JA夢みなみの概要

02 » 取組みに至った経緯

03 » GHG削減の要因

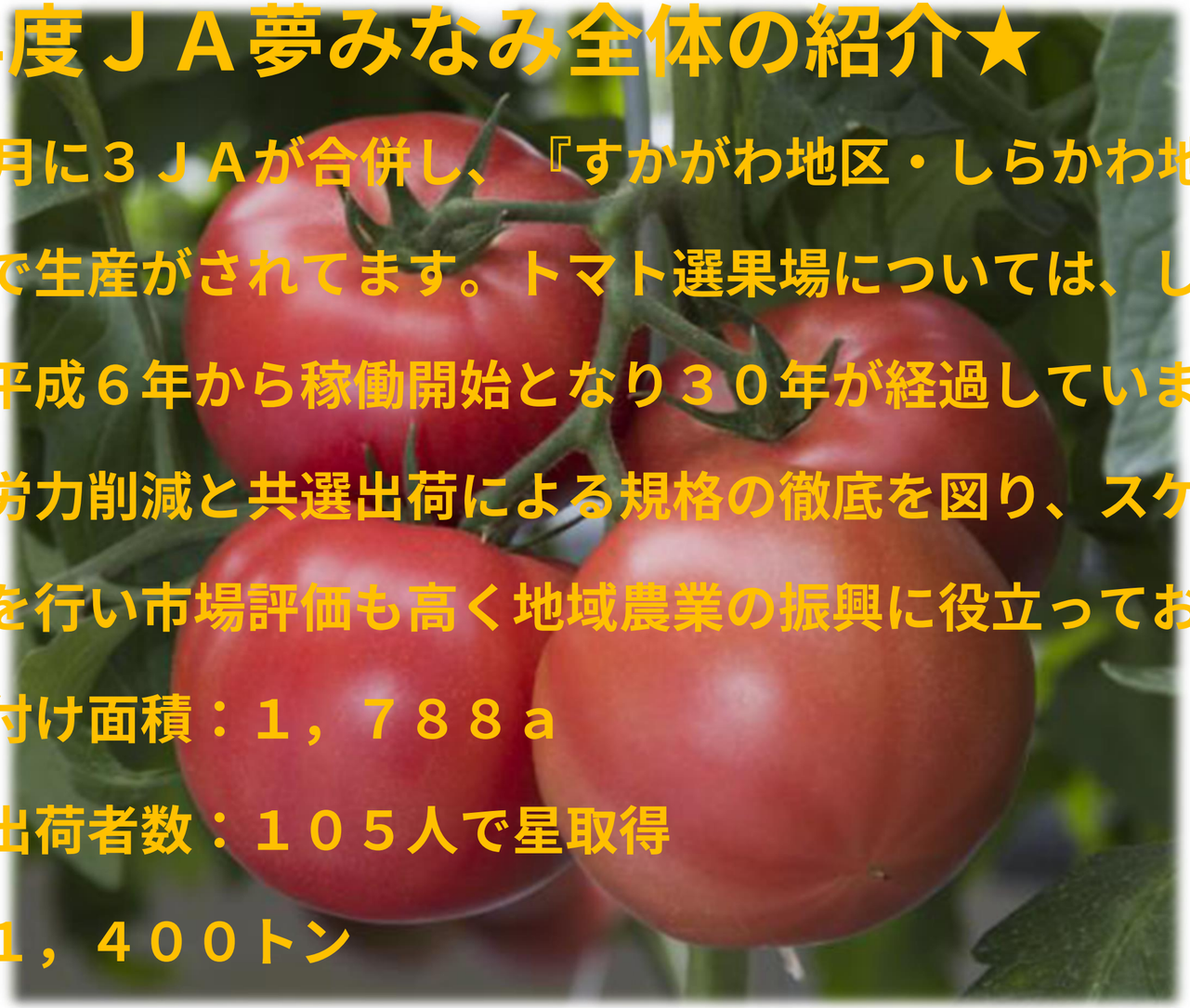
04 » 今後の取組みと課題

01

JA夢みなみの概要

JA夢みなみの概要

★令和６年度ＪＡ夢みなみ全体の紹介★



平成２８年３月に３ＪＡが合併し、『すかがわ地区・しらかわ地区・いしかわ地区』の３地区で生産がされてます。トマト選果場については、しらかわ地区管内の中島村にて平成６年から稼働開始となり３０年が経過しています。その間、トマト生産者の労力削減と共選出荷による規格の徹底を図り、スケールメリットを活かした販売を行い市場評価も高く地域農業の振興に役立っております。

・大玉トマト作付け面積：１，７８８ａ

・トマト選果場出荷者数：１０５人で星取得

・選果実績：約１，４００トン

02

取組に至った経緯

取組に至った経緯

Topic 01

販売先の要望

令和6年8月、JA全農を経由し販売先から「見える化農産物」を取り扱いたいとの要望があり、従来から取引のあるしらかわ地区のトマトに見える化への取組提案がきました。

Topic 02

算定開始

しかし、すでにトマトの出荷は中盤。
取り急ぎ、現状の栽培状況にてGHG削減割合の算定を開始することになりました。

Topic 03

星２つを取得

算定の結果、みごと星２つ 10%以上の削減を達成していることが分かり、10月に登録が完了しました。
出荷の終了間際でしたが、みえるらべるを貼り、提供することができました。

トマトの提供状況

Topic 01

みえるらべるの貼付

出荷段ボールには、上部と側面にみえるらべるを貼付し、出荷しました。一枚ずつシールを貼ることは手間ですが、流通業者、販売先、消費者へのPRになるよう1箱に2枚貼付しました。

Topic 02

販売先でのPOP表示

東京都庁第二本庁舎社員食堂にて提供されました。食堂入り口や、提供口には、見える化事業に取組み、星を２つ取得したことのPR POPを掲示して頂きました。

03

GHG削減の要因

GHG削減の要因

Point 01

地場堆肥活用

隣りの「いしかわ地区」は畜産が盛んな地域。地場の良質な堆肥を活用し、従来から土づくりに励んでいました。

・堆肥活用
・化成肥料の使用削減

Point 02

土壌分析

JA全農福島の農業技術センターにて、定期的な土壌分析を実施。養分過剰な圃場が多いことを捉え、減肥対応の肥料を導入していました。

・適正施肥

Point 03

施肥診断

中堅営農指導員を集め、施肥診断の勉強会を実施。分析結果から施肥の改善指導ができる人材育成に力を入れています。

・施肥改善提案
・営農指導員人材育成

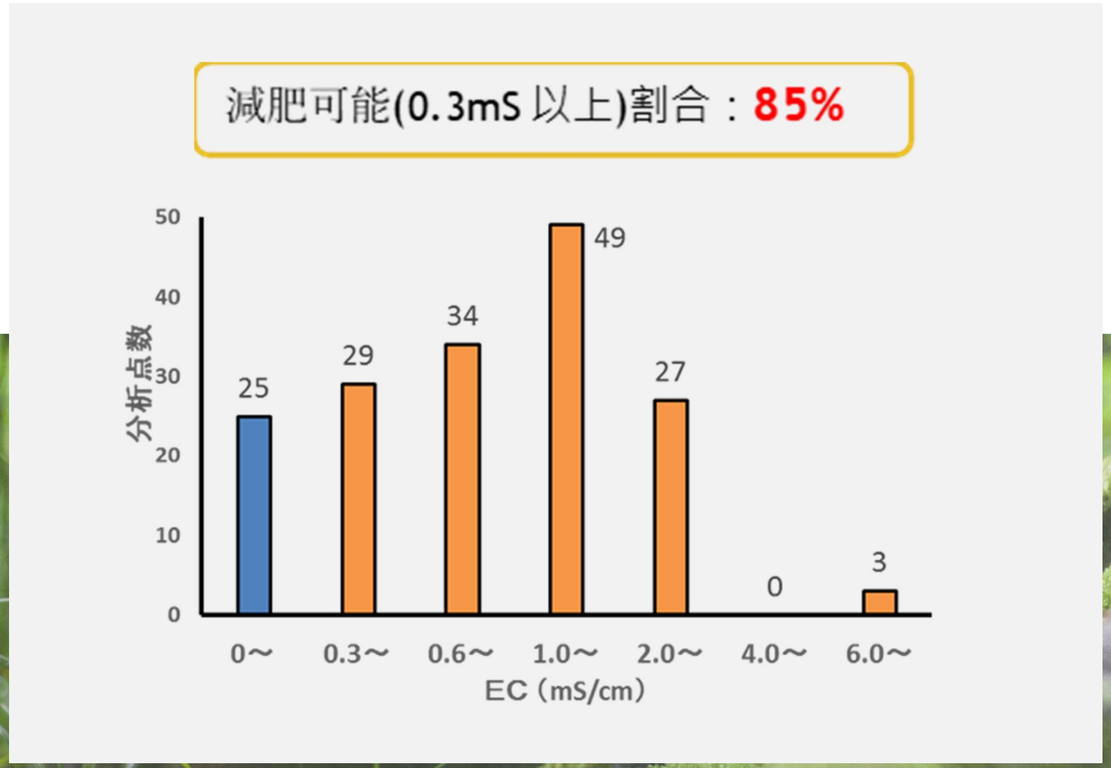
04

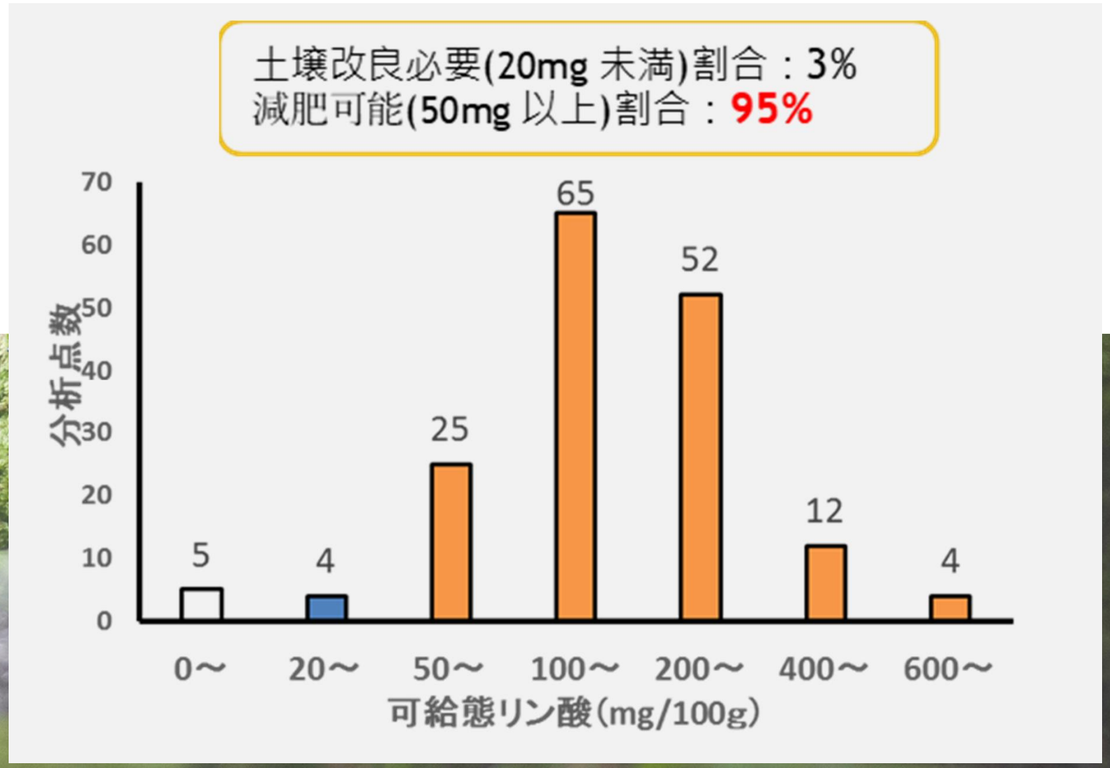
今後の取組みと課題

今後の取組み（１）

まだまだ養分過剰傾向が続いておりますので、更なる改善指導に取り組んでいきます。

※令和5年度　JA夢みなみしらかわ地区トマト栽培土壌　167点の分析結果（分析実施：JA全農福島農業技術センター）

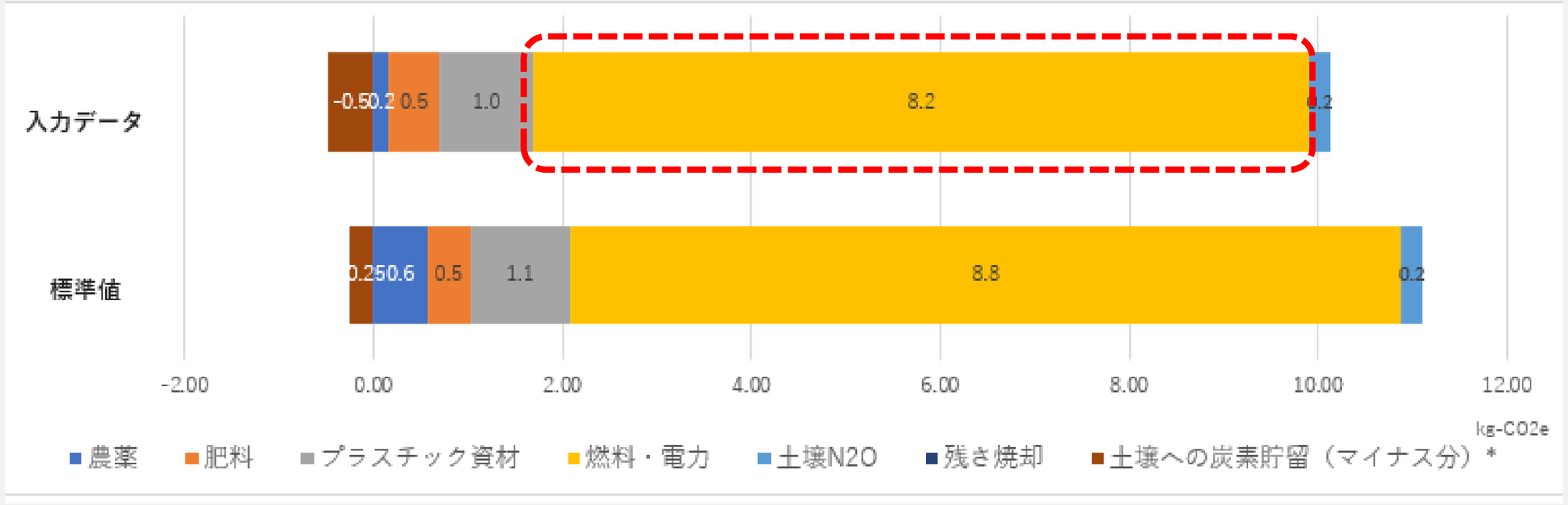




今後の取組み（２）

ウエイトの高い燃料・電力の算定を行い、削減案を策定します。

※令和6年度は登録までの時間がタイトであったため、燃料・電力のほとんどの項目で基準値を使用。



issue

課 題

01

実需者マッチング

慣行品との差別化販売を行って頂ける実需者が少ない。

・見える化の知名度向上
・マッチング

02

周年供給

現在、登録を取得できた作物はトマトのみ。

・周年供給を目指した作物への取組（作型拡大、他作物での登録取得）

03

【農水へのお願い】

対象品目拡充
算定のシステム化

見える化対象品目の拡充。

Web上で算定・登録審査が完結できるシステムの構築。
(算定・登録作業軽減、時短)

ご清聴頂きありがとうございました。